

成長の芽を牽引する インテリジェント再生材

廃棄ゼロのクリーンな社会へ

コニカミノルタ株式会社

2025年10月8日



登壇者

- コニカミノルタ株式会社 執行役員
デジタルワークプレイス事業本部・プロフェッショナルプリント事業本部
生産調達統括部 統括部長
鎌田 隆史
- コニカミノルタ株式会社 経営企画部 事業開発戦略グループ
小松 徹
- MJマテリアル 社長
Weng Wenbin





KONICA MINOLTA

3つのなぜ？

インテリジェント再生材で
拓く成長の道

共創パートナーが語る未来

コニカミノルタ株式会社 執行役員
デジタルワークプレイス事業本部・
プロフェッショナルプリント事業本部
生産調達統括部 統括部長
鎌田 隆史



成長の芽 | “GX×AI×既存技術” で成長基盤を確立

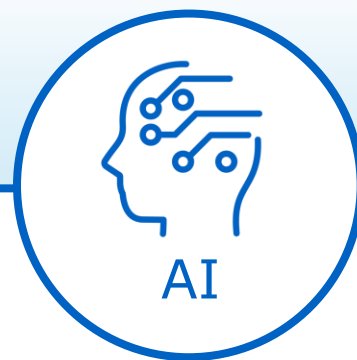
GX関連の マテリアリティ



気候変動への
対応



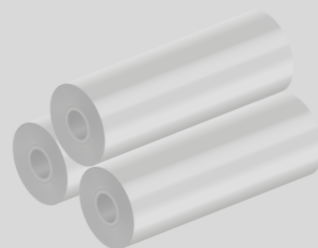
有限な資源の
有効利用



AI



既存技術



ペロブスカイト
太陽電池
バリアフィルム



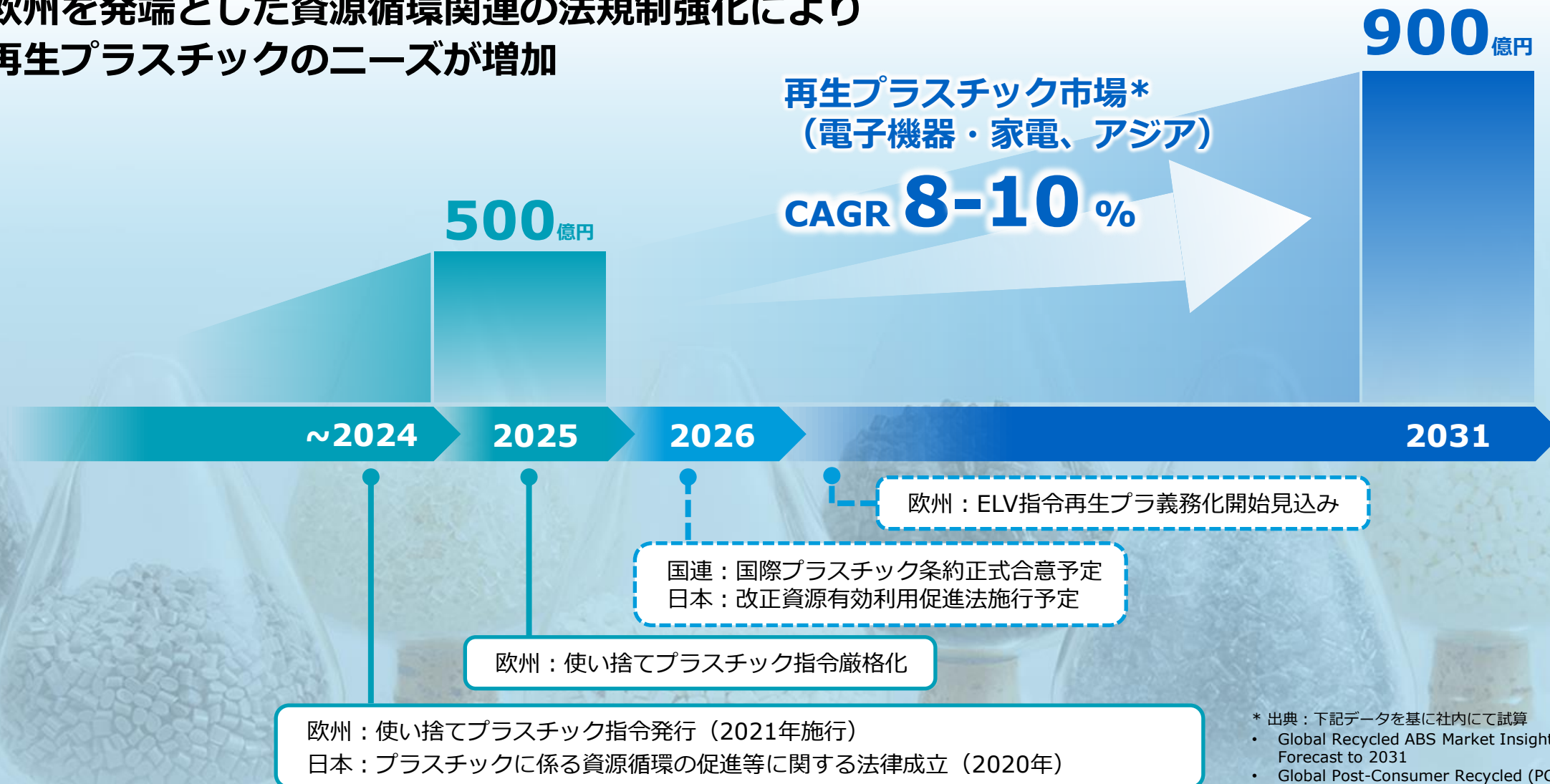
再生プラスチック
製造技術



バイオものづくり
プロセスモニタリング

環境意識の高まりと規制強化を追い風に伸びる再生プラスチック市場

欧州を発端とした資源循環関連の法規制強化により
再生プラスチックのニーズが増加



* 出典：下記データを基に社内にて試算
・ Global Recycled ABS Market Insights, Forecast to 2031
・ Global Post-Consumer Recycled (PCR) PC-ABS Market Insights, Forecast to 2031

コニカミノルタの再生プラスチック活用 | 15年前から情報機器業界をリード



*1 High-Density Polyethylene: 高密度ポリエチレン

*2 Post-Consumer Recycled material: 消費・活用されたことがあるリサイクル材

コニカミノルタの再生プラスチック活用 | MJマテリアルとの協業

コニカミノルタは15年にわたる再生プラスチック材料開発の中でMJマテリアルと技術協業
新たにセンシング・AI技術をかけ合わせ、インテリジェント再生材へと昇華



MJ MATERIAL



KONICA MINOLTA

マレーシアでの
生産実績

15年の
再生材活用実績

生産技術
ポリマー技術

材料・成形ノウハウ

サプライヤー視点

カスタマー視点

センシング・
AI技術

インテリジェント
再生材





KONICA MINOLTA

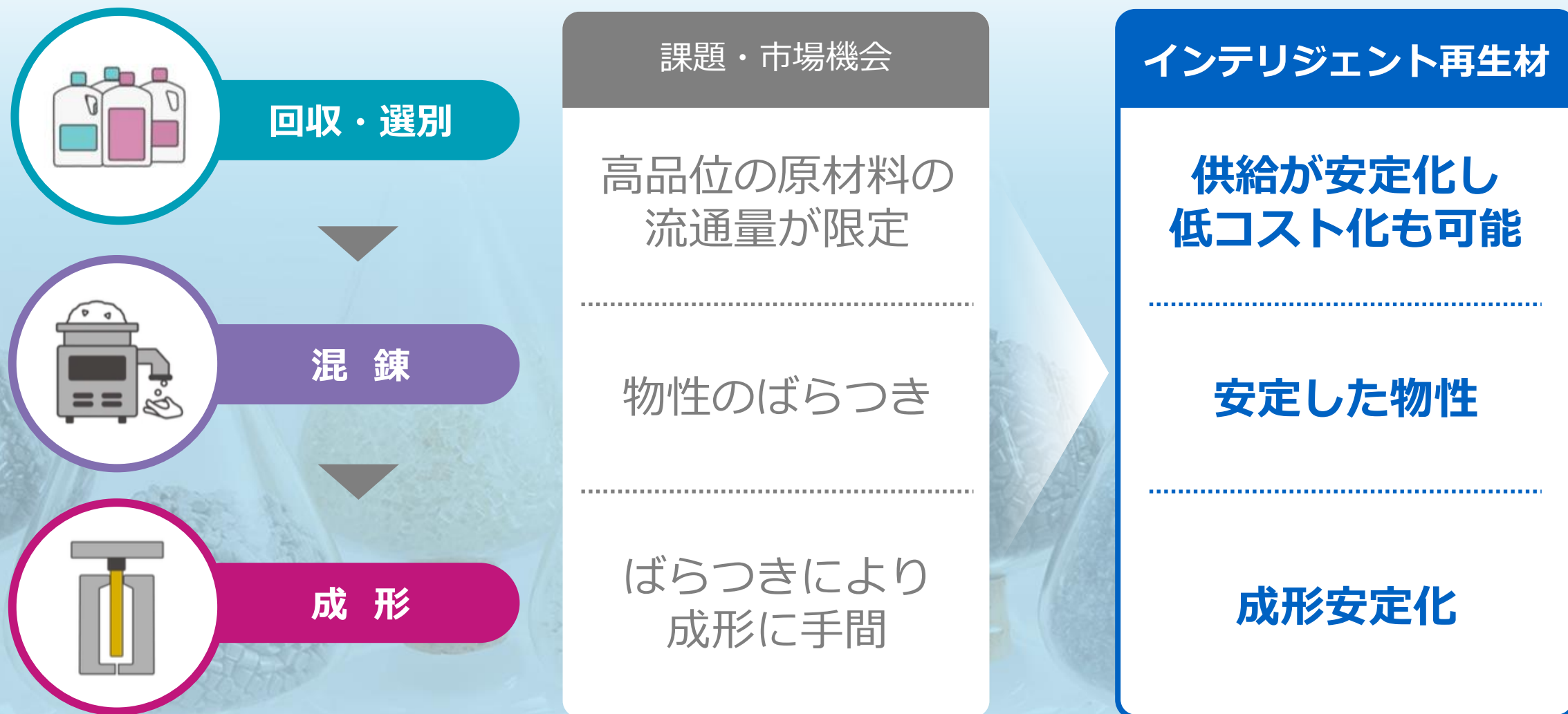
3つのなぜ？

インテリジェント再生材で
拓く成長の道

共創パートナーが語る未来

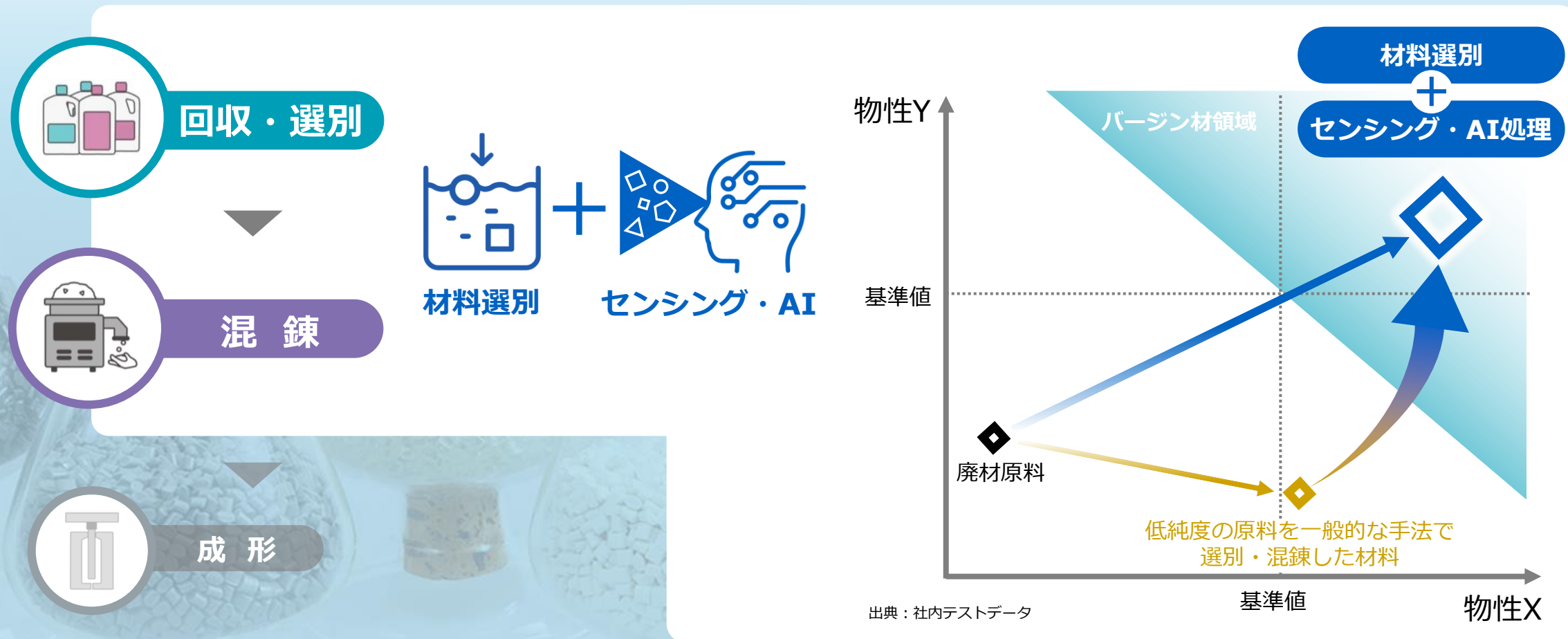
コニカミノルタ株式会社
経営企画部 事業開発戦略グループ
小松 徹





インテリジェント再生材 | 独自の技術によりバージン材相当の物質性能に

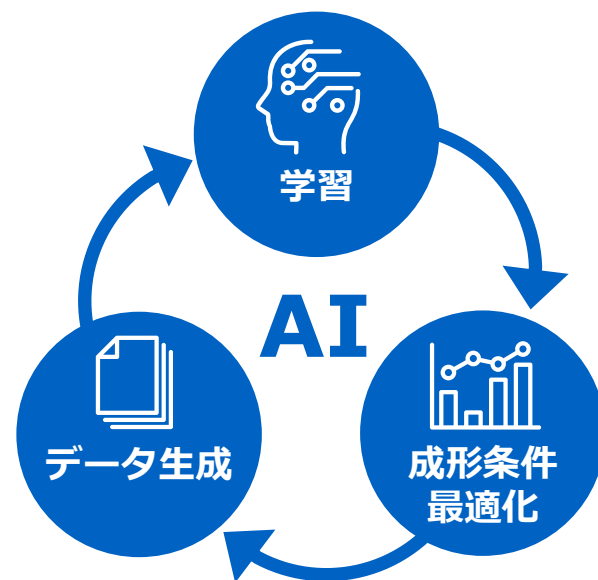
複数の材料選別方法の組み合わせによる適切な異物の除去
当社独自のセンシング・AI技術を用いた混錬条件の最適化



インテリジェント再生材 | 成形品質の安定性を向上させるソリューションを提供

独自開発の成形AIソリューションを提供

成形難易度が高い部品でも顧客が求める品質を安定して量産可能に



多数のスジ・反りが発生
(不具合事例)



良品を安定して量産
(AI最適化モデルの適用)

出典：社内テストデータ

課題・市場機会

高品位の原材料の
流通量が限定

物性のばらつき

ばらつきにより
成形に手間

インテリジェント再生材

アプローチ

物性ばらつきを技術で制御
幅広い原材料を活用可能に

AIが最適な成形条件を提供
現場をトラブルから解放

価値

- ✓ 再生プラスチック
活用の飛躍的拡大
- ✓ 使う側にも優しい
資源循環社会の実現

インテリジェント再生材で狙う市場

アジアの電子機器・家電市場から参入
展開製品・地域・樹脂種の拡張で対象市場を拡大

+自動車
+樹脂種拡大



電子機器+家電
アジア/欧州/北米

+欧州/北米

合計約 **1,800** 億円

電子機器・家電
アジア
約900億円

約 **500** 億円
電子機器・家電
アジア

FY2025

FY2031

出典：下記データを基に社内にて試算

- Global Recycled ABS Market Insights, Forecast to 2031
- Global Post-Consumer Recycled (PCR) PC-ABS Market Insights, Forecast to 2031

MJマテリアルとのパートナーシップによる価値の最大化

独自のセンシング・AI技術を生かしたインテリジェント再生材の物質性能の担保
 MJマテリアルのアセット活用により設備投資を抑え、高収益化の実現
 顧客を支援するソリューションを提供、継続的な関係性を構築する好循環事業モデル

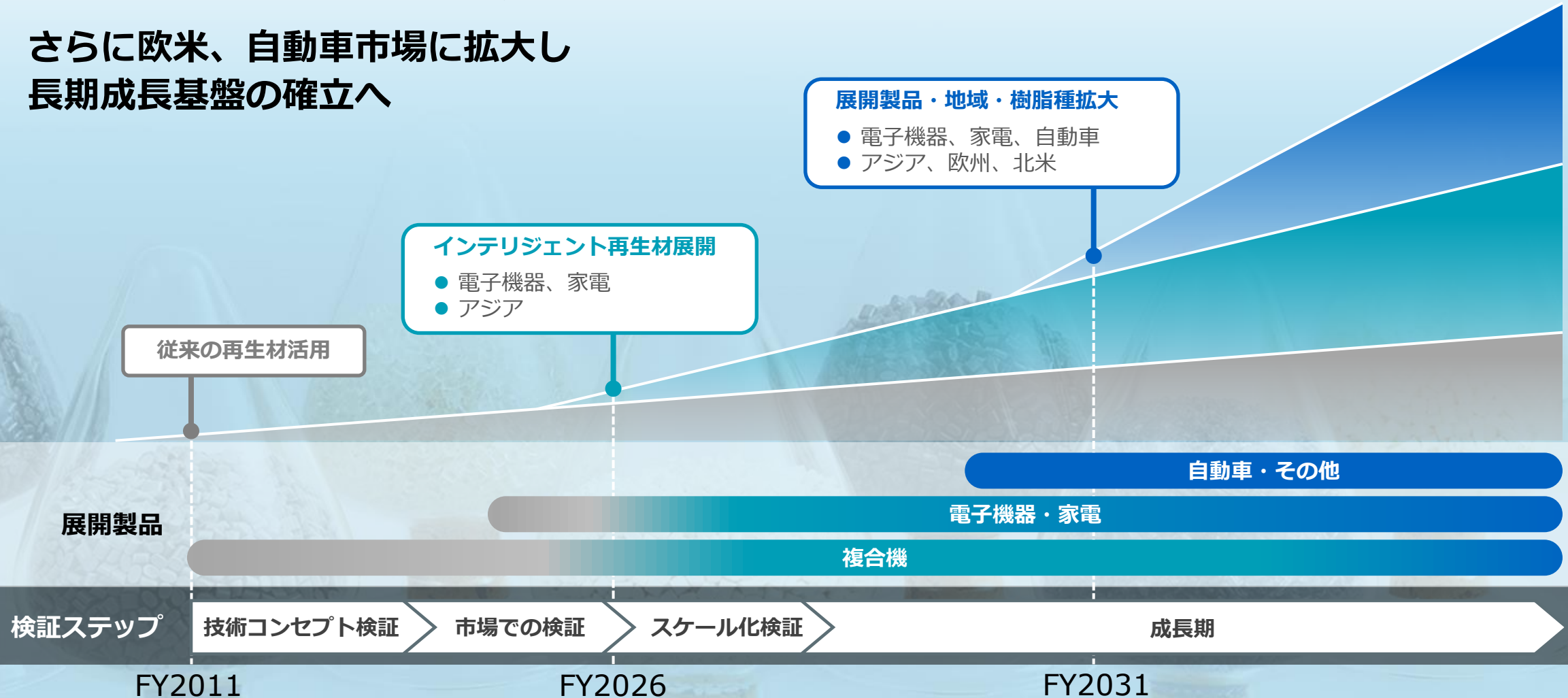


インテリジェント再生材の事業成長イメージ

2026年度より販売開始予定

電子機器・家電、アジア市場から着手、早期にシェア10%を目指す

さらに欧米、自動車市場に拡大し
長期成長基盤の確立へ





KONICA MINOLTA

3つのなぜ？

インテリジェント再生材で
拓く成長の道

共創パートナーが語る未来

MJマテリアル 社長
Weng Wenbin





会社名

MJ MATERIAL TECHNOLOGY SDN BHD

創 業

2014年

所在地

マレーシア ペナン州

取引先

電子機器メーカー、化学メーカー、日用品メーカー etc.

事業内容

マテリアルリサイクルによる再生材の開発・生産

- 再生プラスチックの回収～販売の一貫したプロセスを行う
明文産業株式会社（愛知県豊橋市）の主要開発・生産拠点となる
グループ会社
- リサイクル原料回収については米国、イギリス、ハンガリー、
オーストラリア、中東など20社と業務提携

なぜマレーシアなのか？

- クラン港と高速道路が整備され国際物流での輸出入が迅速
- 東南アジアのハブとして主要市場へのアクセスが容易
- 天災のリスクが低い(地震、台風等)

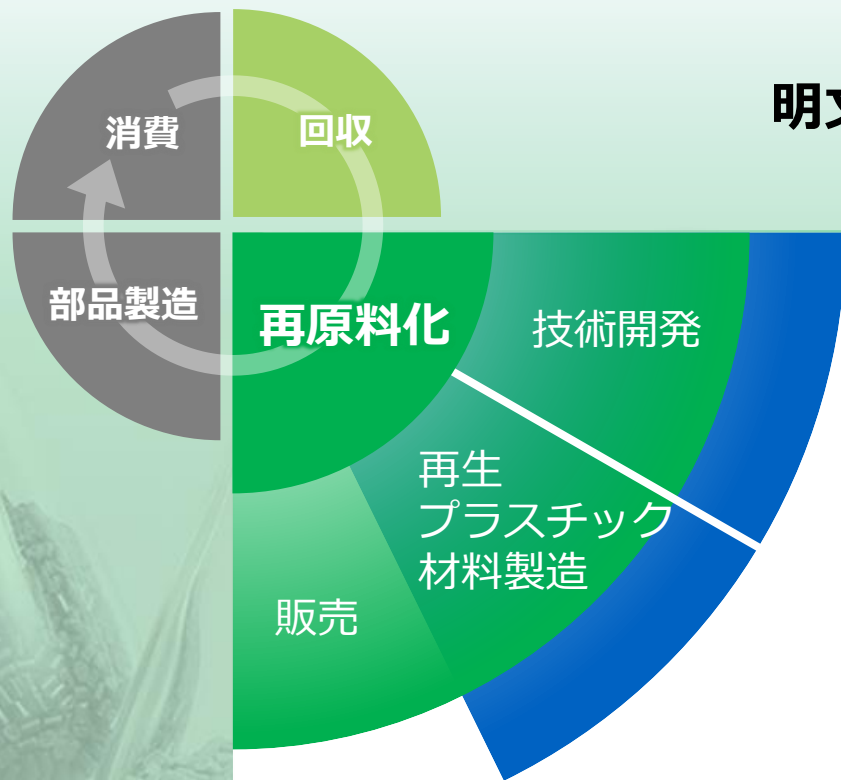


- 厳格なライセンス制度により資源としての輸入が可能
- 透明性強化と法整備が進み外資企業参入が容易

- 英語・中国語が通じコミュニケーションハードルが低い

循環経済の実現に向けたパートナーシップ構築

明文グループで回収～再原料化までの静脈産業を
ワンストップサービスで展開



センシング技術
AI技術



生産技術
ポリマー技術

頼もしいパートナーとの協業

原料を選ばず材料調達の安定性を盤石に
材料製造における効率向上・品質安定化へ

インテリジェント再生材の価値を顧客のもとへ

2026年よりクアラルンプール新工場を開設

コニカミノルタの技術を導入したインテリジェント再生材の生産ラインを稼働開始予定

ペナン マザー工場



クアラルンプール
新工場

クラン港



クアラルンプール新工場

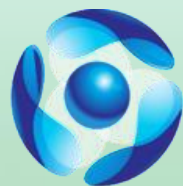
所在地	マレーシア	ヌグリ・スンビラン州
-----	-------	------------

開設予定時期	2026年春
--------	--------

敷地面積	51,000m ²
------	----------------------

生産能力	75,000トン/年（ペナン工場の5倍）
------	----------------------

業界初のソリューション



MJ MATERIAL

サプライヤーの視点



カスタマーの視点



KONICA MINOLTA

一気通貫モデル：回収/破碎/洗浄・選別/混練/成形

供給・品質安定性に優れた
インテリジェント再生材訴求の加速を可能に

- 新規顧客開拓
- 既存顧客への拡販

インテリジェント再生材により原料を選ばず安定供給・品質担保が可能に
捨てられていたものに価値を与え、廃棄ゼロ・クリーンな社会へ



MJ MATERIAL

Vision :

- 使用済プラスチックに未来を与える
- 私たちは独自技術を活かして高付加価値の資源へと生まれ変わらせ持続可能な未来を拓く



インテリジェント再生材提供開始
クアラルンプール新工場稼働

短期で売上100億円
中長期でさらなる成長へ

自動車



家電



電子機器



2025

2026

2027

2028

2029

2030



KONICA MINOLTA